

サトコジファイル

Satokoji

File

福生市議会議員
佐藤こうじ

議員活動レポート



福生「生きがい都市」宣言！

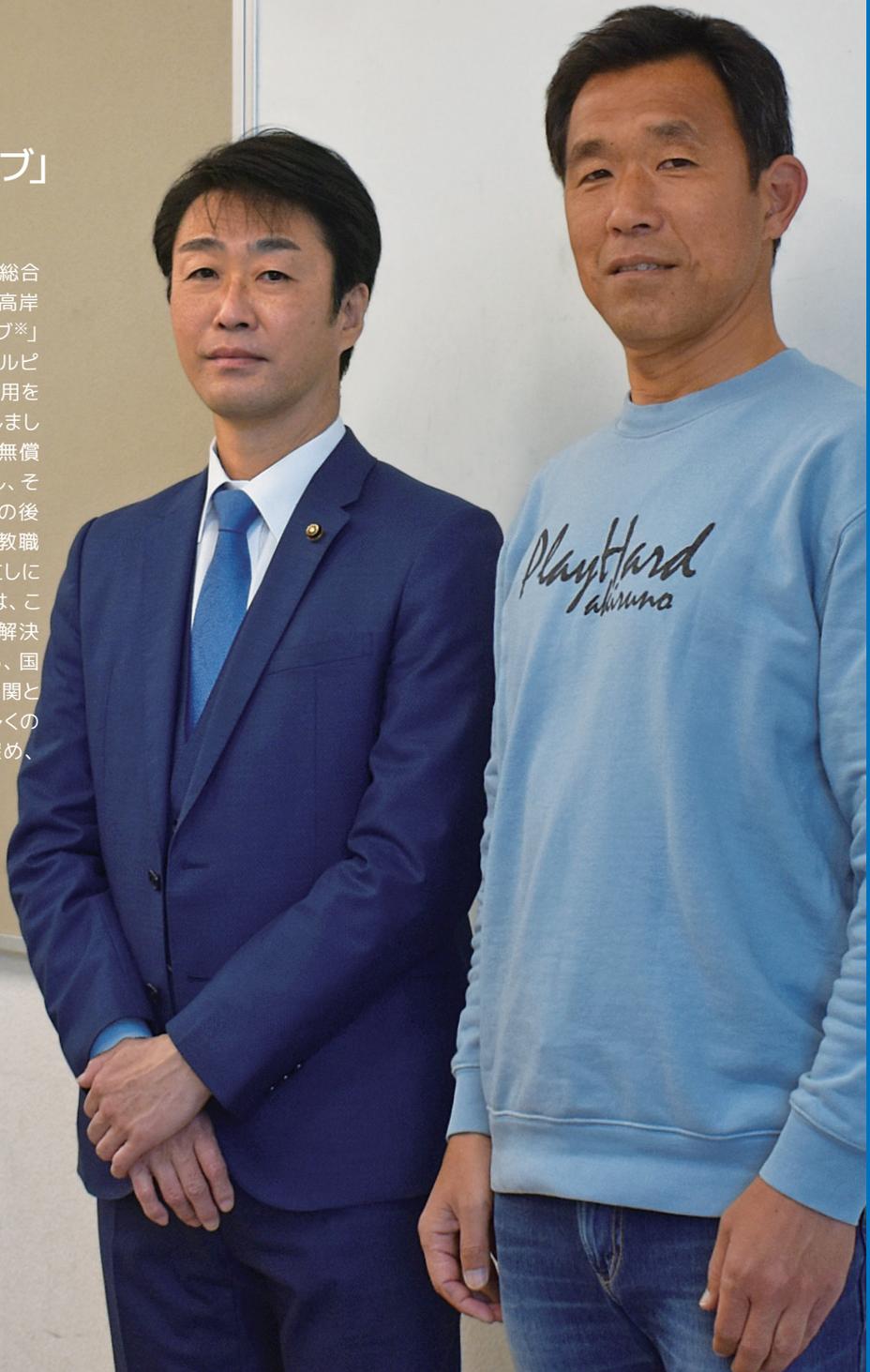
多摩スポーツ議連で 「総合型地域スポーツクラブ」 の研修会を実施

多摩スポーツ議連で、一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ（ASport アスポルト）理事長 高岸祐幸氏をお招きし「総合型地域スポーツクラブ※」についての研修を実施（2022.12.19 あきる野ピア）しました。大企業が選手を雇用し、強化費用を負担することで大きく日本のスポーツは発展しました。また、学校の体育施設の利用と教職員の無償の指導により部活動は推進されました。しかし、それは、いま岐路に立っています。例えば、景気の後退により企業実績が悪化し廃部となったり、教職員の働き方改革や少子化により部活動が成立しにくい状況です。「総合型地域スポーツクラブ」は、こうしたスポーツ環境を改善に導き、地域課題解決の切り札となることでした。しかしながら、国や東京都からの助成金の配分、既存の関係機関との連携、質の高い指導者の確保などなど、多くの課題があります。研修内容を参考に議論を深め、政策提言につなげていきます。



※総合型地域スポーツクラブ：人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多趣味)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

詳しくは [note](#) に掲載しています →



令和4年12月議会での一般質問

1 防災行政について

災害医療体制の構築について

質問 11月5日に「災害時における緊急医療救護所設置訓練」が公立福生病院で行われました。これは、災害医療体制の構築に向けた重要な訓練だと考えます。その中で行われたトリアージ※訓練について質問しました。

答弁 各自治体からの搬送訓練実施後に、その要救護者をトリアージエリアである病院正面玄関前にて、公立福生病院職員が、中等症・重症者は院内に、軽症者は、立体駐車場1階に設置した緊急医療救護所に振り分ける訓練を行ったとのことでした。

※トリアージ（選別を意味するフランス語）：災害発生時に多数の負傷者が発生した際に適切な処置・搬送を行うために傷病者の優先順位を決めることで、実際に災害が起きた際に正しくトリアージを行うことが出来るよう、災害を想定した訓練。医師、看護師、救急隊が行う。

Satokoji Point

災害時には、多くの負傷者が押し寄せることが予想されます。損傷の軽い方については、各避難所に対応するなど、取り扱いについて整理して、市民へのインフォメーション等を医師会など関係者ともよく検討し、今後の取組に活かすよう要望しました。



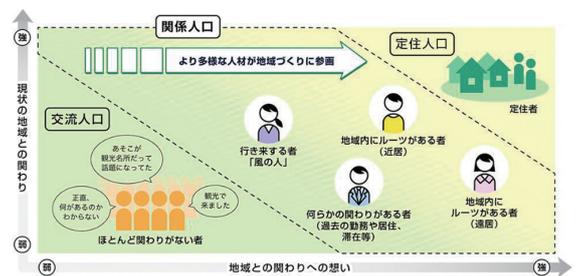
2 関係人口について

質問 「関係人口」は、短期間の交流や観光という関わり方ではなく、長期に暮らし続ける定住という関わり方でもない、第3の人口の考え方で「観光以上、定住未満」と捉えられ、その当該自治体の住民以外のファンであると考えます。関係人口について質問しました。

答弁 地方においては、まちづくりの担い手不足等の課題から市外の方々がその担い手となり、地域の活性化に寄与する取組が広がっているが、都市部においては、当該地域への情熱や想い、愛着を有し来訪される方として捉える傾向があるものと認識している。まちの魅力を広くアピールすることで、市外の方々に本市のファンとなっただき、関係人口たる関わりを通じて、本市の魅力の発信、浸透に寄与していただき、もって、移住・定住へと繋がればと期待するとのことでした。

Satokoji Point

他市では、市民との協働、ボランティア活動といった面で、この関係人口が非常に効果を生んでいます。福生市のホームページでもボランティアを募集しており、関係人口を大いに活かすことができると考えます。先進市の事例を研究し、関係人口拡大への取組み、考え方の市民や職員への理解、施策の策定と展開を推進していただきたいと要望しました。



3 読書活動の推進について

質問 令和3年6月市議会一般質問で、読書活動の推進に関して「市教育委員会として、是非読んでもらいたい推薦図書を選定するなどして、児童・生徒の言語能力の向上に取り組んでいく」という答弁がありました。この度「福生市の先生が選んだ100冊」を選定したとのこと。そこで、①その活用について、②学校図書館の活用について、③学校図書館等へのデジタル図書の導入について質問しました。

答弁 ①令和4年度秋の読書週間に合わせて、リーフレットを配布。3学期には、アンケートを行い、感想等についてまとめ、児童・生徒や保護者、教職員にフィードバックすることで、読書に対する機運の醸成に努める。②学校図書館に自然に導く取組が大切になると考え、例えば「福生市の先生が選んだ100冊」のコーナーを学校図書館内に設置し、児童・生徒自身が「この本のおススメ」を紹介する等の取組が期待される。③全小中学校では、デジタル教科書に関する導入実証事業に参加しており、リテラシーが育ってきている。市では電子図書館を開設する予定があり、その際には児童・生徒に対して積極的な活用を推奨したいと考えているとのことでした。

Satokoji Point

「福生市の先生が選んだ100冊」は、いろいろな教育事業の柱や取組みのきっかけとなると感じました。図書館との連携も進めて、更に活用の幅が広がるよう要望しました。また、教育振興基本計画には、「キャリア教育の推進」の項目があります。キャリア教育と連携した資料提供など、学校図書館を利用する価値は高いと考え、キャリア教育に力点を置くよう要望しました。近い将来、一人一台iPadでこの100冊が読めるようになるということであり、図書館との連携による取組みに大いに期待したいと思います。



4 令和における福生市立学校の在り方検討委員会について

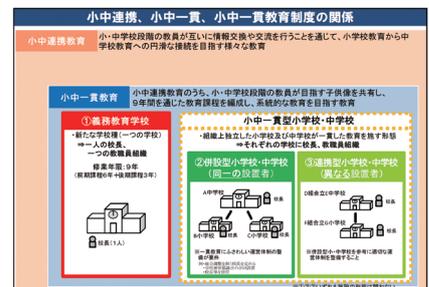
小中一貫校の検討について

質問 令和3年第4回定例会一般質問で、「小中一貫校等今後の本市における教育構想について」の質問に対する答弁にあった「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」が開催され、小中一貫校について検討されています。その検討状況について質問しました。

答弁 令和4年9月までに、3回の委員会を開催。「福生市立学校への期待や願い、実現したい学校の姿について」等、各委員から御意見をいただき、事務局から、小中一貫校の法令上の位置付けや施設形態等について説明。また、小中一貫校の必要性や期待、不安や課題などについて、様々な御意見をいただき共有した。今後、方向性についてさらに協議を深め、年度内に提言をいただく予定とのことでした。

Satokoji Point

委員からは「現状から、施設分離型の小中一貫教育が現実的ではないか」という意見があったとの答弁でしたが、総務文教委員会の視察先（小中一貫教育について）である姫路市の教育委員会に「どの施設形態がよいか」質問すると「一体型」だという回答でした。最終的には小中の教職員が一つになるために、一体型を目指すべきだと考えます。このような意見があったことを、在り方検討委員会でもご紹介いただきたいと要望しました。



近隣他市との広域連携

私が広域連携の取組みに力を入れるのには理由があります。少子化高齢社会がさらに進めば、基礎自治体の税収が減るのは必至です。当然、国や都の補助金も減少します。市民が利用する施設の整備費用の捻出も難しくなります。更には、あらゆる面で人材不足に陥ります。持続可能な行財政運営を行い、市民サービスの低下を招かないよう、そして市民活動の維持を図っていくためにも、広域連携によるスケールメリットを最大限に活かす取組みが必要だと考えます。

奥多摩町

青梅市

瑞穂町

羽村市

福生市

日の出町

あきる野市

檜原村

西多摩エリア

(西多摩地域広域行政協議会)

多摩スポーツ議員連盟設立式



多摩スポーツ議員連盟 2020年8月～

青梅市、あきる野市、羽村市、福生市、昭島市の議員からなる団体でそれぞれの体育施設を視察し、広域連携による施設の利用や共同設置などの研究をしています。部活動の地域移行や近隣他市との合同チームなど、更にはスポーツ・ツーリズムなどについても調査研究しています。



25区若手議員の会 2015年4月～

25選挙区の議員からなる団体で、私は副会長を務めています。昨年は、夫婦別姓、個人情報保護法などをテーマに研修会を行い、議論を深めました。各議員が議員活動の中で得た知見に基づき議論し合い、政策提言等に活かす取組みにつなげています。



広域公共交通検討会 2022年12月～

新たな議員間連携の取組みとして、あきる野市の村野栄一議員、羽村市の印南修太議員と広域公共交通検討会を立ち上げました。広域連携によるスケールメリットを活かし、将来、移動手段をどのように確保し、更に発展させていくか研究していきます。意識の高いお二人の先輩議員と共に頑張っていきたいと思っております。



佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

メディア
出演情報

FMたちかわ 『I.S.M.(イズム)生特番』

第2・4週 日曜日 16:00～18:00

番組内出演コーナー 16:00～16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の
「市議会議員は毎日何をしているのか?」
地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします!

84.4
fm
エアーム
たちかわ
FM TACHIKAWA

ご視聴方法はこちら→

佐藤こうじ
公式サイト<https://www.sato-koji.com/>佐藤こうじ
Facebookページ

市議会議員は毎日何をしているのか

職歴～現在

- 2015年** 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業(型枠工事/二級建築士)を経て、**福生市議会議員に初当選**。議会運営委員会委員、総務文教委員会委員、議会改革に関する特別委員会副委員長、横田基地対策特別委員会副委員長、西多摩衛生組合議会議員
- 2019年** **福生市議会議員に再選**。総務文教委員長、議会運営委員、横田基地対策特別委員会議会改革に関する協議会座長代行、福生病院組合議会副議長、市議会党派正和会 政調会長
- 2021年** 議会運営委員長、総務文教委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長、瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長

生年月日 1968年10月28日(さそり座) 血液型 O型

趣味特技 カラオケ、卓球、読書(社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです!)

政治観 地方自治は民主主義の学校である(J.プライス)

家族 福生生まれの妻(介護福祉士)、社会人の長男・次男、大学生の長女

座右の銘 処人謙然(しよじんあいぜん)「人と接するときには和やかな態度で接すること」

地域活動 保護司、(社)不動産社会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問

福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員

ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問

福生 生きがい都市宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

✉ koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町79